

1.七ヶ浜町震災復興に関する調査 集計結果報告[確定版]

□調査の趣旨及び概要

震災復興全般に関し、住民の意向を確認するため、町民の16歳以上(平成23年4月1日現在)の無作為抽出した1,000名を対象に、郵送により調査を実施
該当人数17,438人⇒1,000人を無作為抽出

□回答件数

512人(回収率51.2%)

□調査結果概要

- [1-3]被災前の居住状態は、持ち家が約88%であり、持ち家の比率が高い。
- [1-5]被災状況は、大規模半壊以上が約16%、半壊及び一部損壊が約58%、床上・床下浸水が約2%、無事が約20%であった。
- [2-4]被災後に自宅以外に住んでいる方が約17%となっている。
- [3-1-1]現在、仮設住宅等に避難されている方の今後の住まいについて、約68%が本町を希望しているものの、約7%の方が町外を希望している。
- [3-2]現在、仮設住宅等に避難されている方の今後の住まいについて、持ち家を希望する方が約51%、民間の賃貸住宅が約2%、公営住宅が約5%となっている。
- [4-1]震災後において、自営業を営んでいる方で、再開の目処が立っていない、廃業された方が約20%、会社員で自宅待機もしくは解雇された方が13%となっている。
- [4-2]浸水区域に住みたくないと考えている方が約60%となっている。
- [4-3]居住条件の優先順位として、第1位が立地、次に住まいの質(広さ・安全性・快適性)、次に日常生活の利便性となっている。
- [4-4]行政に望むことについて、第1位が防波堤などによる津波対策、次に素早い情報開示・提供、次に住宅(仮設を除く)の建設・支援となっている。